

授 業 科 目 名	保育内容総論	教 員 名	福島 裕子 (実務経験のある教員)	免許・資格 との 関 係	小学校教諭	選択
					幼稚園教諭	必修
					保育士	必修
授 業 形 態	単独	担当形態	単独	卒 業 要 件	こども音楽療育士	
科 目 番 号	F0I202	配当年次	2年後期		小幼コース	選択必修
単 位 数					幼保コース	必修
科目						
各科目に含める 必要事項						
施 行 規 則 に 定める科目区分						
科目						
系列						
一 般 目 標	乳幼児の発達と生活の基本を学び理解する。子どもの活動と保育環境、保育者の援助、遊びを通しての総合的指導などについて学習する。 (1) 幼児教育の基本に基づく指導の考え方の理解 幼児教育の基本を踏まえた幼稚園や保育所等における指導の考え方を理解している。 (2) 発達を見通した指導計画作成の理解 幼稚園教育や保育所等の保育における指導計画の考え方を理解し、幼児の発達の過程を見通した指導計画作成を理解する。 (3) 幼稚園及び保育所等における具体的な指導の理解 幼児の興味や関心や発達の実情などに応じた具体的な指導の在り方を理解する。					
到 達 目 標	(1) 幼児教育の基本に基づく指導の考え方の理解 1) 幼児期の教育における見方・考え方について、具体的な事例を挙げて説明できる。 2) 遊びを通しての総合的な指導の意義と教師の役割が説明できる。 3) 幼児理解に基づく評価について説明できる。 4) 幼稚園教育や保育所等の保育と小学校教育との円滑な接続についての説明できる。 (2) 発達を見通した指導計画作成の理解 1) 幼児教育における指導計画の考え方について説明できる。 2) 長期の指導計画と短期の指導計画との関係について説明できる。 3) 具体的な幼児の姿から指導計画を作成する手順と配慮点について説明できる。 4) 指導計画の評価の考え方について説明できる。 5) 幼児にとっての行事の意味を理解し、園行事の在り方を説明できる。 (3) 幼稚園や保育所等における具体的な指導の理解 1) 幼児の実態に沿って、物や人との関わりを深める視点から教材を工夫する力を付ける。 2) 保育記録を書くことを通して、幼児を理解する力を付ける。 3) 模擬保育を通して、ねらい及び内容に沿って総合的に指導する力を付ける。					
ディプロマポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授 業 の 概 要	幼稚園教育及び保育所等の保育は、施設的生活全体を通して総合的に指導するという指導の考え方を理解し、具体的な幼児の姿と関連づけながら、環境を構成し実践するために必要な知識・技能を身に付ける。 従来の保育内容の教科目を保育内容総論と保育内容演習に分けたものであり、保育所保育指針及び幼稚園教育要領における「保育の目標」「子どもの発達」「保育の内容」を関連付けて理解する。子どもの生活全体を通して、養護と教育が一体的に展開することを具体的な保育実践につなげて理解させる。					

	アクティブラーニングとして、「振り返り、個別の質疑応答、グループディスカッション、グループでのプレゼン作成及び発表、小テスト・レポートなど」を取入れる。
履修条件・ 注意事項	
授 業 計 画	第1回：保育所保育指針及び幼稚園教育要領に基づく保育の基本及び保育内容の理解Ⅰ 「保育内容とは」について理解する。(目標(1)-1)) 幼児教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を理解する。(目標(1)-4)) 第2回：保育所保育指針及び幼稚園教育要領に基づく保育の基本及び保育内容の理解Ⅱ 保育所・幼稚園の役割、保育内容について、歴史的変遷を踏まえて理解する。(目標(1)-1)) 保育所保育の現代的課題について理解する。(目標(1)-1)) 第3回：保育の全体構造と保育内容との関連Ⅰ 保育所保育指針と保育内容を理解する。(目標(1)-2)) 幼稚園教育要領と保育内容を理解する。(目標(1)-3)) 第4回：保育の全体構造と保育内容との関連Ⅱ 保育の目標(養護と教育、保護者支援)、方法、環境等の理解と、具体的保育内容について理解する。(目標(1)-2), 3)) 第5回：保育内容と子ども理解Ⅰ 子どもの発達の特性と保育内容について理解する。(目標(2)-1)) 個と集団の発達と保育内容について理解する。(目標(2)-1)) 第6回：保育内容と子ども理解Ⅱ 保育所保育指針と幼稚園教育要領における発達のとらえ方を理解する。(目標(2)-2)) 第7回：保育内容と子ども理解Ⅲ 保育における観察の視点と、記録項目の設定について理解する。(目標(2)-3)) 第8回：保育内容の展開Ⅰ 養護と保育が一体的に展開する保育のねらいおよび内容について理解する。(目標(2)-4)) 環境を通して行う保育(安全教育や食育等を含む)のあり方について理解する。(目標(2)-4)) 第9回：保育内容の展開Ⅱ 保育内容における遊びを理解する。(目標(2)-5)) 生活と遊びの関係を理解する。(目標(2)-5)) 第10回：保育内容の展開Ⅲ 遊びによる総合的な保育の方法や留意点について理解する。(目標(1)-2), (3)-1)) 遊びによる総合的な保育の実践例について調べる。(目標(3)-1)) 第11回：保育内容の展開Ⅳ 生活や発達の連続性に考慮した保育のねらいや実施上の留意点について理解する。(目標(2)-1), 2), 3)) 生活や発達の連続性を生かした保育の実践例について理解する。(目標(2)-4)) 第12回：乳児・低年齢児の生活と保育内容 0歳児から2歳児の生活と育ちを理解する。(目標(3)-2)) 第13回：3・4・5歳児の生活と保育内容 3・4・5歳児の生活と育ちを理解する。(目標(3)-2)) 第14回：幼児教育の基本である乳幼児の発達と遊びと学びについて再度確認する。 (目標(1)-2)) 幼児教育に関する内容について、グループで調べたことを発表し検討する。(目標(3)-3)) 第15回：保育の多様な展開の事例 幼児教育に関する内容について、グループで調べたことを発表し検討する。(目標(3)-3)) 期末試験

時間外学修の確保について	(事前・事後学習として週2時間以上行うこと。) 事前学習: 毎回、授業の最後に、重要な点をまとめて説明をするので、自分の知識としておくこと。 理解不十分なことは次の授業で質問をすること。 事後学習: 講義内容について自分なりに整理し、次の授業までに理解しておくこと。理解不十分な内容は次の授業で質問をすること。
学生に対する評価	期末試験60%、レポート提出20%、発表等20%で評価し、60%以上を合格とする。 なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。 ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・答案例を配布する。
テキスト	『幼稚園教育要領〈最新版〉』 フレーベル館 『保育所保育指針〈最新版〉』 フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領〈最新版〉』
担当者からのメッセージ	子どもの遊びに関して、幼稚園教育要領や保育所保育指針等のねらいや、内容との関係、また、遊びと子どもの育ちについて検討をしていきましょう。
オフィスアワー	授業の前後の時間を利用して時間を作りたいので、メール等でアポイントを取ってください。疑問点について話し合いましょう。
備考	担当教員は、幼稚園教諭としての経験を活かして、具体的な事例や体験をもとに授業を行う。